

学校訪問シリーズ 26

臼杵市立下北小学校から学ぶ

学校の教育目標「郷土を愛し、仲間と共に、学び合い、高め合い、認め合う『下北っ子』の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「対話力（聴く力）」と定め、目指す子ども像「考える子（知識・技能）」「がんばる子（思考力・判断力・表現力等）」「おもいやりのある子（学びに向かう力、人間性）」から、「えがお」をキーワードにした学校経営を組織的に取り組んでいます。



学校経営から学ぶ

本校は、全ての活動において「聴く力」を意識した実践を行っています。そのため、相手の発言を静かに聞くだけでなく、相手との理解を深め、より感情や言葉の意味を知るような聴くことを目指しています。

そのため、コミュニケーションを円滑にする子どもが増え、大変落ち着いた雰囲気の中で学び合う学校へと変容しました。

さらに、授業や学級活動で学んだことを、全校集会や行事における司会や進行、意見発表等でも発揮したり、児童会の取組においても上級生が下級生に指導したり、最近子ども達自身が「聴く力」を意識して行動するようになったそうです。



NO.203 2022年10月 臼杵市立下北小学校

聴く力

聴いてくれる友達がいるから、自分の考えを、自信をもって発表することができる。



NO.202 2022年10月 臼杵市立下北小学校

対話力

問題を読み、先生と対話する。解きながら友達と対話をする。ふりかえりて、自分自身と対話する。

授業から学ぶ

日々の授業の中心に「聴く」ことを捉えているので、参観したどの授業でも、子どもどうしの対話をとおして、子ども自身が課題を発見する流れは見事でした。

今後は、「振り返り」は、4年生の指導案のように、教師が願う具体的なゴールの姿を子どもが表現するような言葉で表すことで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になると思いました。



NO.201 2022年10月 臼杵市立下北小学校

ワクワク課題

昨日までと違う所はどこかな。でも、解けそうだ。できそうだ。はやくやりたい。



NO.204 2022年10月 臼杵市立下北小学校

挑戦する!

見守ってくれる先生がいる。応援してくれる友達がいる。だから、挑戦できる。